



令和7年度（2025年度）大気測定結果を公表します

市内の大気汚染状況は、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及びダイオキシン類について、全測定局で環境基準に適合しました。しかし、光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準に適合することができませんでした。

測定項目別の状況は、次のとおりです。

■二酸化硫黄（SO₂） 表－1

市内5測定局の年平均値は、0.002ppmでした。

環境基準は平成13年度（2001年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

■二酸化窒素（NO₂） 表－2

市内6測定局の年平均値は、0.012ppmでした。

環境基準は昭和53年度（1978年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

■光化学オキシダント（OX） 表－3

市内4測定局の昼間（5時～20時）の年平均値は、0.032ppmでした。

環境基準は、全測定局で適合しませんでした。

■浮遊粒子状物質（SPM） 表－4

市内7測定局の年平均値は、0.016mg/m³でした。

環境基準は平成24年度（2012年度）以降連続して、全測定局で適合しました。

■ダイオキシン類 表－5

市内2測定地点の年平均値は、0.058pg-TEQ/m³でした。

環境基準は測定を開始した平成12年度（2000年度）以降連続して、全測定地点で適合しました。

■降下ばいじん 表－6

市内10測定地点の年平均値は、3.39/kgm²・月でした。

降下ばいじんの環境基準はありません。

なお、加家公民館及び養父町公民館は移動測定局のため、市内平均に含みません。

問合せ	環境経済部 生活環境課 環境対策グループ 担当：新海（しんかい）、福本（ふくもと） 052-613-7696、0562-38-6321
-----	---

表一 1 二酸化硫黄（SO₂）

項 目 測定局	令和 7 年度 （2 0 2 5 年度） 平均値 ppm	測定時間 時間	環境基準との対比		日 平 均 値 の 2 % 除 外 値 ppm	環 境 基 準 の 適 否 適○否●	令和 6 年度 （2 0 2 4 年度） 平均値 ppm
			1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 時間	日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 日			
名 和 小 学 校	0.001	8,600	0	0	0.003	○	0.001
市 役 所	0.002	8,591	0	0	0.004	○	0.001
富 木 島 小 学 校	0.001	8,386	0	0	0.004	○	0.001
横 須 賀 小 学 校	0.002	8,335	0	0	0.005	○	0.002
加 木 屋 小 学 校	0.002	8,590	0	0	0.004	○	0.001
市 内 平 均	0.002	—	—	—	—	—	0.001

表一 2 二酸化窒素（NO₂）

項 目 測定局	令和 7 年度 （2 0 2 5 年度） 平均値 ppm	測定時間 時間	環境基準との対比		日 平 均 値 の 年 間 98 % 値 ppm	環 境 基 準 の 適 否 適○否●	令和 6 年度 （2 0 2 4 年度） 平均値 ppm
			日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 日	日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 日			
名 和 小 学 校	0.011	8,485	0	0	0.027	○	0.011
上 野 公 民 館	0.012	8,622	0	0	0.027	○	0.012
市 役 所	0.011	8,609	0	0	0.025	○	0.011
横 須 賀 小 学 校	0.014	8,664	0	0	0.029	○	0.013
加 木 屋 小 学 校	0.011	8,591	0	0	0.026	○	0.011
名 和 町 吹 付	0.014	8,623	0	0	0.030	○	0.015
市 内 平 均	0.012	—	—	—	—	—	0.012

表ー3 光化学オキシダント（OX）

項 目 測定局	令和7年度 (2025年度) 平均値	昼間 測定時間	環境基準との対比	環境基準 の 適 否	令和6年度 (2024年度) 平均値
			1時間値が0.06ppmを 超えた時間数		
	ppm	時間	時間	適○否●	ppm
上野公民館	0.033	5,422	73	●	0.033
市役所	0.033	5,400	358	●	0.034
横須賀小学校	0.028	5,412	59	●	0.029
加木屋小学校	0.034	5,414	480	●	0.034
市内平均	0.032	—	—	—	0.032

※光化学オキシダントは、県内の一般環境大気測定局62局すべてで環境基準に適合しませんでした。

※昼間（午前5時～午後8時）の測定結果を環境基準の評価対象としている。

表ー4 浮遊粒子状物質（SPM）

項 目 測定局	令和7年度 (2025年度) 平均値	測定時間	環境基準との対比		日平均値 の 2% 除外値	日平均値が0.10 mg/m³を超えた日 が2日以上連続し たことの有無	環境基準 の 適 否	令和6年度 (2024年度) 平均値
			1時間値 が0.20mg /m³を超 えた時 間数	日平均値 が0.10mg /m³を超 えた日 数				
	mg/m³	時間	時間	日	mg/m³	有●無○	適○否●	mg/m³
名和小学校	0.015	8,686	0	0	0.032	○	○	0.014
上野公民館	0.017	8,681	1	0	0.039	○	○	0.017
市役所	0.014	8,683	0	0	0.038	○	○	0.014
富木島小学校	0.016	8,688	0	0	0.031	○	○	0.015
横須賀小学校	0.018	8,683	0	0	0.035	○	○	0.016
加木屋小学校	0.015	8,677	0	0	0.031	○	○	0.014
名和町吹付	0.018	8,690	0	0	0.044	○	○	0.016
市内平均	0.016	—	—	—	—	—	—	0.015

表―5 ダイオキシン類

年 度 測定点	令和7年度 (2025年度)	環境基準の適否	令和6年度 (2024年度)
	pg-TEQ/m ³	適○否●	pg-TEQ/m ³
名 和 小 学 校	0.053	○	0.030
消 防 本 部	0.063	○	0.028
市 内 平 均	0.058	—	0.029

表―6 降下ばいじん（平均値）

年 度 測定点	令和7年度 (2025年度)	令和6年度 (2024年度)
	t /km ² ・月	
一 番 畑 保 育 園	2.74	3.14
名 和 児 童 館	2.23	2.54
名 和 町 吹 付	3.58	3.41
名 和 東 児 童 館	2.45	2.57
上 野 中 学 校	2.81	2.67
ソ ラ ト 太 田 川	3.61	4.00
ま な ぶ ん 横 須 賀	7.29	8.44
養父児童館・養父 健 康 交 流 の 家	3.63	4.11
横 須 賀 中 学 校	2.96	3.19
三 ツ 池 保 育 園	2.62	2.24
市 内 平 均	3.39	3.63
加 家 公 民 館	3.66	4.02
養 父 町 公 民 館	6.83	7.38

＊ 加家公民館及び養父町公民館は移動測定局のため、市内平均には含まない。

大気汚染に係る環境基準

令和8年3月31日時点

項目 物質名	環境基準	評価方法
二酸化硫黄 (S O ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.04ppm以下であること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素 (N O ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	年間における1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値が0.06ppm以下であること。
光化学オキシダント (O X)	1時間値が0.06ppm以下であること。	年間を通じて1時間値が0.06ppm以下であること。ただし、5時から20時までの昼間時間帯について評価する。
浮遊粒子状物質 (S P M)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が0.10mg/m ³ 以下であること。ただし、1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと。
ダイオキシン類	年間平均値が0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。	